

第2期 (平成28年3月～平成29年2月)

まつもと子ども未来委員会 活動報告集



まちづくりについて
市長へ提言
平成28年8月17日



まつもと子ども未来委員会のマーク

【子どもたちがマークに込めた思い】

- ① 松本を大切にしたい(手の中に松本市)
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然(山・太陽)を描きました

松 本 市

目 次

I	はじめに	1
II	「まつもと子ども未来委員会」実施要項	2
III	「まつもと子ども未来委員会」委員	3
IV	「まつもと子ども未来委員会」開催状況	4
V	「まつもと子ども未来委員会」活動内容	5
1	話し合いのテーマ	5
2	テーマごとの話し合い	6
(1)	「まちのくらしや安全」について	6
(2)	「まちをきれいにすること」について	6
(3)	「松本のPR」について	7
3	市内見学	8
4	市長提言	8
5	活動発表	13
6	テーマについてさらに学習	14
VI	先進都市との子ども交流事業	15
1	札幌市・奈井江町との子ども交流事業	15
2	地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウム	17
3	宗像市・福津市との子ども交流事業	18
VII	その他参加者の興味・関心のある事業	20
1	学都松本フォーラム	20
2	チャオ！バンビーニ	20
3	発掘調査体験	21
VIII	平成28年まつもと子ども未来委員会 アンケート結果	22
1	未来委員用	22
2	保護者用	25
IX	資料	
1	子ども交流事業ニュース	30
2	子ども交流事業参加者感想	42
3	松本子どもの権利の日市民フォーラム 未来委員会の報告資料	59
4	関連する新聞記事	67

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることが出来るまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

松本市は、子どもたちの健やかな成長を支援し、「すべての子どもにやさしいまちづくり」を進めるために、県内で唯一、子どもの権利に関する条例を制定しました。条例では、子どもたちの主体的に成長する権利、安心して生きる権利、自分らしく生きる権利、社会に参加する権利の4つの基本の権利を大切にしていけることが謳われています。

まつもと子ども未来委員会は、この条例に基づき、子どもたちの意見表明や参加の促進を図るため、平成27年に設置された委員会で、平成28年3月からは、第2期として活動を始めました。

第2期では、第1期に引き続き、まちづくりについて市に提言する取組みを主軸として活動し、全13回の学習会で、松本市のまちづくりに関する取組みを学習してくれました。学習会では、学校や学年を越えて、活発な意見交換がなされ、そこでの意見を元に、大人では気付かない子どもならではの視点で、松本のまちづくりを自ら積極的に考え、提言する姿が非常に頼もしく感じられました。

「未来委員会にできることがあったら声をかけてほしい」と提言してくれたこともあり、第2期では、博物館や、公園緑地課、学都松本推進協議会から、発行しているパンフレットの内容等について、子どもの意見聴取を行いたいと未来委員会に声をかけられるケースがあり、未来委員会の活動の広がりを実感しました。

他にも、委員の皆さんの興味がある事業として、学都松本フォーラムやチャオ！バンビーニに参加したり、発掘調査体験をしたり、松本の様々な事業に興味を持って積極的に取り組んでくれました。こうした、学校ではできない様々な体験や、学校や年代を越えた友だちとの交流をもとに、委員の皆さんが大きく成長してくれたものと思います。

未来委員会を通し、様々な経験を積んだ委員の皆さんが、将来の松本を担うリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

松本市長 菅谷 昭

Ⅱ 第２期「まつもと子ども未来委員会」実施要項

1 趣 旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するものです。

2 内 容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 対 象

松本市内在住、あるいは市内の学校に通ったり活動をしている１０歳（小学４年生）から１７歳（高校２年生相当）まで（募集時の年齢）

4 活動期間

平成２８年３月～平成２９年２月 （募集期間：平成２８年２月１日～２月２９日）

5 主な事業

(1) 子ども未来委員会の開催と活動発表

ア 学習会 ８回開催 （３月から８月までの間、１カ月に１～２回程度開催）

イ 施設見学会 ２回開催 ６月に実施

ウ まちづくりについて市に提言 ８月に実施

エ 子どもの権利フォーラムで活動発表 １１月

(2) 他都市との子ども交流事業に参加

ア 札幌交流（札幌市） ８月

イ 全国自治体シンポジウム（宝塚市） １０月

ウ 宗像市・福津市交流（松本市乗鞍） １月

(3) 参加者の興味・関心のある事業を実施

ア 学都松本フォーラムへの参画

イ チャオ！バンビーニへの参画

ウ その他委員会で検討

松本のまちづくりについて学習し、市に提言する取組みは８月までになりますが、自治体シンポジウム及び、宗像市・福津市交流事業に参加する児童・生徒は、８月以降も事前・事後研修会に出席し、札幌交流事業と自治体シンポジウムについては、１１月に開催する子どもの権利フォーラムで発表するものとします。

また、交流事業への参加者を募る際には、次年度の委員継続が可能な子どもを優先することとし、次期委員会のリーダーとしての役割を担い、交流等での体験を委員会活動に活かすこととします。

6 参加者募集方法

(1) ２月１日号広報まつもとで募集

(2) 市内小中高校へ募集チラシを配布

(3) 松本市公式ホームページに掲載

Ⅲ 第2期「まつもと子ども未来委員会」委員

36名

学 校		男 子		女 子	
小学生 16名	5年生 6名	芝沢小、本郷小、梓川小 島立小	4名	寿小、波田小	2名
	6年生 10名	附属小、大野川小、明善小	4名	四賀小、寿小、清水小 芳川小、源池小、島内小	6名
中学生 11名	1年生 7名	旭町中、開成中	2名	松島中、高綱中、明善中 附属中	5名
	2年生 2名	筑摩野中	2名		
	3年生 2名	筑摩野中	1名	筑摩野中	1名
高校生 9名	1年生 1名			松商学園高校	1名
	2年生 2名	松本美須々ヶ丘高校	1名	松本美須々ヶ丘高校	1名
	3年生 6名	松本工業高校 松本美須々ヶ丘高校	3名	松本工業高校 松本美須々ヶ丘高校	3名

(学年、氏名50音順)

学 校	氏 名
小学生	おおつき こうき おおつき りょう たきざわ か な ながもと なつき ねもと れいな ひらた たろう 大槻 幸貴、大槻 諒、滝沢 夏菜、永本 夏樹、根本 怜奈、平田 太朗 いぬま けいた うえの ゆうか おざわ しゅうへい きはら なおみ こまはし ななみ さはら ひびき 飯沼 恵大、上野 祐佳、小澤 周平、木原菜穂美、駒橋 七美、佐原 響生 すずき ゆずは にしお ちひろ はら あい な ふるや あやね 鈴木 柚葉、西尾 千嘉、原 愛唯奈、古屋 采音
中学生	くるみさき みき てづか みずき ないとう たかね はやし はるか ひらた 胡桃澤実彩、手塚 瑞季、内藤 壮嶺、林 春花、平田 メイ、藤井 柔玲 よしむら しょうた かいかわ ともひろ きはら たくと かとう ゆい くすのき ひろと 吉村 祥太、海川 智祐、木原 拓人、加藤 由唯、楠 裕人
高校生	せげた おりい ゆうか つちや かい うさみ ゆうき こまつ たける ひのはら まなみ 瀬端きらら、折井 優花、土屋 海、宇佐見友希、小松 丈瑠、日野原愛水 ふの ゆうき みやはら しり むらかみ かずき 布野 結季、宮原 朱里、村上 和基

IV 開催状況

回・日付	内 容
第1回 3月21日（月・祝）	オリエンテーション、子どもの権利について学習
第2回 4月24日（日）	まちづくりの学習テーマ決定 ※決定したテーマ：まちのくらしや安全について、松本のPRについて、まちをきれいにすることについて
第3回 5月22日（日）	「まちのくらしや安全について」学習
市内見学① 6月 5日（日）	上高地、松本市歴史の里を見学
第4回 6月12日（日）	「まちをきれいにすることについて」学習
市内見学② 6月26日（日）	松本城、旧開智学校、山と自然博物館、市内（大名町・縄手通り等）、道の駅「いまい恵みの里」を見学
「まつもとの松」写真審査 7月 9日（土）	NPO法人松本ユネスコ協会主催の「まつもとの松」写真展の応募作品の審査へ参加
第5回 7月10日（日）	「松本のPRについて」学習
第6回 7月24日（日）	提言に向けたまとめ
第7回 7月31日（日）	提言に向けたまとめ
市長提言 8月17日（水）	学習テーマについて、市長、教育長及び関係部課長に提言
第8回 8月28日（日）	前半の活動のまとめ、後半の日程検討
学都松本フォーラム 9月3日（土）4日（日）	市立博物館と協力して、「子どもと文化財」と題した分科会を企画
発掘調査体験 9月25日（日）	土居尻で発掘調査を体験
第9回 10月22日（土）	「松本のPRについて」より詳しく学習
市内見学③ 10月23日（日）	市内、博物館等見学
第10回 11月13日（日）	市民フォーラム準備
チャオ！バンビーニ 11月23日（水・祝）	演劇を実施
市民フォーラム 11月27日（日）	活動報告
第11回 12月11日（日）	子どもの権利条例ポスター作製
第12回 1月22日（日）	子どもの権利条例ポスター作製
第13回 2月26日（日）	第2期のまとめ

V 活動内容

1 話し合いのテーマ

まつもと子ども未来委員会でどんなことについて話し合いたいのか、第1回から第3回の委員会で話し合いました。

その結果、次の3つのことについて話し合いをすることに決まりました。また、そのことについて、学習したいことや話を聞きたい人、見学したい施設なども意見を出してもらいました。

テーマ	学習したいことや見学したい施設など
松本のまちについて	✧ 学習したいこと ・松本のいいところを知ってもらうには ・松本空港の発着便を増やすには ・県外、海外の人たちに直接松本の良い所を紹介（インターネット） ・「がく都」を広めたい ・松本が有名になるためには ・松本の特産物をPRしたい ・県外ではどんなPRをしているのか直接自分たちで体験したい ✧ 話をききたい人 - 松本城の人・ボランティアの人・観光客の通訳の人 ✧ 見学したい施設 - 松本城・市役所・松本空港・アルプス公園・歴史博物館・上高地・美ヶ原（青年の家にとまる）・開智学校・時計博物館・松本市立博物館・NHK 放送局
まちのくらしや安全について	✧ 学習したいこと ・自転車や歩行者のマナーが悪いのでどうすればいいか話し合いたい ・大雪が降った際の道路整備をどうするか ・警察の方に松本ではどのようなことが起きているのかを聞く ✧ 話をききたい人 - 警察の人・消防署の人 ✧ 見学したい施設 - 警察署・消防署
まちをきれいにすることについて	✧ 学習したいこと ・駅前、あがたの森の鳥ひがいについて ・どうしたらゴミが減らせるか ・花いっぱい運動をしたい ✧ 話をききたい人 - 駅前でゴミを拾ってくれている方々 ✧ 見学したい施設 - 駅前・ゴミ収集センター・上高地・森林・山などを管理しているところ・山と自然博物館・川・公園

2 テーマごとの話し合い

第3回から第5回の委員会では、テーマごとに話し合いをしました。第6回から第7回の委員会で、話し合いをした結果を提言に向けてまとめ、発表の準備をしました。

委員会の中では、次のような意見が出されました。

(1) まちのくらしや安全について

	みんなからの主な意見など
事故が多いこと	◆ 公民館で講義をする。 ◆ ラジオで朝と夕方に呼びかける（帰る時とかに車で聞く） 【市の担当者からのコメント】 公民館では、今は、高齢者の交通安全教室をおこなっています。メディアを活用しての呼びかけは活用してみたいです。
松本走り・危険運転	◆ 交差点や信号機のところにポスターを貼る。 ◆ 右折車専用信号の増加に力を入れる。 ◆ 駅や公共施設にポスターを貼る。 ◆ 信号の所にカメラを取り付けて、取締りを強化する。 【市の担当者からのコメント】 防犯ポスターのコンクールはあるけど、交通安全についてのコンクールはないので、今後考えてみたいです。 信号は警察が設置していますが、右折専用の信号をつくるには、まず右折専用の道を作らなければいけません。道路は市がつくるので、まずは道路作りを進めたいです。カメラも、事故が多い交差点には設置をしているので、今後も取り組んでいきたいです。
事故は人ごとだと思う	◆ 実際に事故にあった人の体験談を聞く時間を作って市民の意識を高めたい。 【市の担当者からのコメント】 事故にあった人の気持ちも考えなくてはいけないので、体験談を聞くのはむずかしいところもあるけれど、実際に話を聞くのは大事なことだと思います。実際の体験談ではないけれど、今は、交通事故を再現した安全教室をやっています。

(2) まちをきれいにすることについて

	みんなからの主な意見など
松本の環境のいいところ	◆ けむりがすくない、空気がきれい ◆ 都会にくらべてすずしい ◆ 水がきれい ◆ 緑が多い ◆ いろいろな運動をして町をきれいにしている ◆ ごみをきちんと処理している

松本の環境のよいところ	◆ 市街地が山に囲まれて暑い ◆ 川にごみが多い ◆ 公共交通機関を利用しないので、国道の渋滞が多い ◆ 野焼きの煙が多い 【市の担当者からのコメント】 市では空気中の煙の調査をしていて、確かに、野焼きをした後に調査すると、煙の量が増えますが、人の体に悪い影響はありません。また、野焼きは、害虫駆除や畑の土を良くするなどの目的があって、実は、畑にとって大事なことでもあります。
わたしたちができること	◆ ごみ拾い 【市の担当者からのコメント】 自分のごみは持ち帰っても、人のごみは見ても見ぬふりをしがちです。人のごみを拾うのは勇気がいるけれど、見ている人が必ずいて、同じようにやらなきゃと思っています。そうやってごみ拾いの活動が広がるので、勇気をもって拾ってみてください。 ◆ ごみを持ち帰る 【市の担当者からのコメント】 公園など公共施設のごみ箱は、最近減っています。これは、ごみを出さないという意識が高まっているからです。ごみを出さないようにするためには、物を買うとき、ごみになるときのことを考えるだけでも変わります。ビンなどは埋め立てごみといって、リサイクルできず、最終処分施設で埋め立てます。松本には、エコトピア山田という最終処分施設がありますが、あと 10 年でいっぱいになってしまうと言われています。最終処分施設に持っていくごみを減らして、今ある施設を長く使うことが大事です。
大人にしてほしいこと	◆ 太陽光発電をもっと増やしてほしい 【市の担当者からのコメント】 松本市でも太陽光発電の設置補助をしていますが、申請件数はだんだん減ってきています。太陽光発電が広がって、みんな申請が終わっているからなのかもしれません。ちなみに、自然エネルギーは太陽光発電のほかにもバイオマス・地熱・風力・水力発電があります。

(3) 松本のPRについて

	みんなからの主な意見など
PRの方法など	◆ 昔からの行事（一か月遅れの七夕など）をイベントでPRする。
	◆ 松本の良いところを紙にまとめて、学都松本フォーラムで発表する。
	◆ 温泉のPRができていないので、ポスターやCMを作る。
	◆ 学校の宿題でポスターを作って、電車の中吊りに貼ってもらう。
	【市の担当者からのコメント】 作ってくれたポスターを観光温泉課に持ってきてくれたら、活用方法を考えてみたいと思います。ただし、東京の方は電車の中吊り広告はだんだんなくなって、モニターが増えているので、モニターでの宣伝方法も考えていきたいです。 ◆ 観光客が松本城でストップして、他の場所にまで来てくれないので、他の場所もPRしたい。 【市の担当者からのコメント】 松本城の有料入場者は年間 93 万人です。無料で入れるところへの入場者を含めると、本当はもっと多いと思います。旧開智学校などといっしょに宣伝していきたいです。

	◆ 温泉を活用するために、「はしごチケット」を作る。 ◆ 松本で使えるマップやクーポン雑誌を、若い人や子どもの意見を取り入れながら作る。 【市の担当者からのコメント】 とても良い案だと思うので、アイデアがほしいです。 今は、100円バスや空港の搭乗券をつかって、クーポン・割引をやっています。
	◆ Wi-Fiをもっと整備したり、松本の案内アプリを作る。 【市の担当者からのコメント】 来月から、「orange」のスマホARが始まります。ARとは、縄手通りなどでスマートフォンをかざすと「orange」のキャラクターが見られたりするものです。また、観光情報の案内アプリについては利用を考え中です。
	◆ 全国で協力して、お城めぐりツアーを企画する。 【市の担当者からのコメント】 実は、前に全国のお城をめぐるツアーを考えたのですが、お城は全国各地にあって全部めぐるのはとても時間がかかってしまうのです。今は、5つの国宝（松本城・犬山城・彦根城・姫路城・松江城）をめぐるコースを考えています。
そのほか	◆ 交通マナーの悪さが、悪い意味で有名になってしまっているのを、大人に呼びかけてマナーを良くする。 ◆ 家族全員がワイワイできる場所がすくないので、自然を活かしたテーマパークを作る。 【市の担当者からのコメント】 アルプス公園でネイチャリングフェスタという、自然とふれあうイベントをやります。ぜひ友だちを誘って行ってみてください。

3 市内見学

話合いのテーマの勉強のため、松本市の自然や文化、歴史などについて市内の見学を行いました。

- (1) 6月 5日（日） 上高地、松本市歴史の里を見学
- (2) 6月26日（日） 松本城、旧開智学校、山と自然博物館、
大名町・縄手通り、道の駅「いまい恵みの里」を見学
- (3) 10月23日（日） 市立博物館、道祖神めぐり、はかり資料館、四賀化石館

4 市長提言

これまでに学習したことをもとに、松本のまちづくりについて3つのテーマで提言を行いました。

- (1) 日時 8月17日（水） 午後2時から3時
- (2) 会場 松本市役所 議員協議会室
- (3) 出席者 まつもと子ども未来委員会 委員18名
松本市長、松本市教育長、総務部長、環境部長、商工観光部長、危機管理課長

まちのくらしと安全について

1 道路交通網について

- 松本市の今の状況
- 他町より道路がきれい。
- × 雪かきが遅い
- 他町より道が細い。

2. 交通ルールについて

松本市の今の状況

- 赤行者が通るのを待っていている
- × 信号が多く、渋滞が起きやすい
 - ・ どうもたら良いか

市役所にして欲しいこと

- どうしたら いいか
- ・特に駅前の道路がカタカタ
なので 雪が降ったら、すぐに
対応したり、夜中に雪かき
をしてほしい。
- 自分たちができること
- ・ボランティアで雪かきをする。

- 1 雪が降った。ら、
 尽速に対応してほしい。
 そして、常に路面が滑らないようにしてほしいです。
- 2 松本市ではよく渋滞が
 おこるので信号を渋滞しない様に
 少し工夫してほしいです。

- ・信号を減らすのが一番いいと思う
- ・無理なようだったら、
周回道、抜け道を示す看板をつくって、たててもらいたい。
- ・自分たちでできること
交通ルールに対するポスターを学校の課題などで
かいてもらう。

3. 災害について

- ハザードマップ(防災マップ)を配っている。
細い道を地区、学校などで雪かきをしている。
- × 防災訓練が少ない。
↓
防災訓練を行う人あまりいない。

- ・ どうした方がいいか
- ・ 市でやる防災訓練の数を増やして欲しい
- ・ 地区などで防災訓練を実施する
- ・ 自分でできること
- ・ 積極的に防災訓練に参加する。
- ・ 非常用セット(非常食等)を家に用意する。

3 災害に備えて、訓

- 4 練を多くやってほしい。そして、公民館などに非常用セットを
おいてほしいです。
ヒルの高さ制限
を設ける。障害者に
やさしい(トレマップなど)マップを作る

4. 環境について

- ☆ 松本市の今の状況
- 悪いところ
- × 木植物が少なくい。
 - × ゴミが多すぎる!!
- いいところ
- 水がキレイ
 - ・ 自然の力を借りてエネルギーを作る
- × 地球温暖化防止のため、省エネを推進している。

- るべく高くしないように呼びかけをあまりして
いないので、山が見えなくなっている
X 障害者にやさしくない環境 (トイレマップ等がないなど)
★ どうしたら良いか
• ビルの高さの制限
• 障害者にやさしい取り組み



松本のPRについて

• 今の松本のPRについて

- 松本城の有料入場者は年間93万人。無料スペースへの入場者数は、それ以上だと思われます。ただ、松本城より北の方の旧開智学校へは、おとずれる人は少なくなっています。
- タウンスニーカーや、松本空港の搭乗券を使って、クーポンや、割引ができます。
- 今月から、松本を舞台にした映画「Orange」のスマホARが始まりました。

• これからやっていきたいこと

- 松本にある昔からの行事を活かした、

イベントをや、てほしいです。

- 松本市の温泉について、CMやポスター、はしごチケットを作るなどして、PRしたい。
- 松本市のポスターを、子ども達で作、て、電車の中吊りに貼、てもらう。
- 松本城で、ティッシュ配りをして、旧開智学校を、PRする。
- 松本で使えるマップやクーポン雑誌を、若い人や子どもの意見を取り入れて、作、てほしい。
- 外国の人が、情報を取り入れやすいように、無料のWi-Fiをたくさん設置する。
- いくつかのお城と協力して、お城めぐりツアーを企画する。

• 自分達でできること

- 基本的には、市役所の友や、太人にや、てもらう活動でも、子どもが手伝えることがあ、ると思います。市役所の友は、積極的に

子ども未来委員会に声をかけて下さい。

- 市外の友だちや、親じきの人に、松本のPRを進んでやります。

- 楠裕人
- 宇佐見友希
- 佐原響生
- 根本怜奈
- 海川智祐
- 西尾千嘉
- 飯沼恵大
- 平田メイ

～ 松本の環境について ～

【 良い所 】

- ・ 緑が多い。
- ・ 多くの人がゴミを持ち帰っている。(上高地)
- ・ 水がきれい。
- ・ きちんと空気の浄化が行われている。
- ・ 自然を活用してエネルギーを作っている。
- ・ 町ときれいに保っている。

【 悪い所 】

- ・ 市街地のポイ捨てが多い。
- ・ 車の煙が多い。
- ・ 食品ロスが多い。
- ・ ゴミの分別がされていない。
- ・ 市街地に緑が少ない。

メンバー

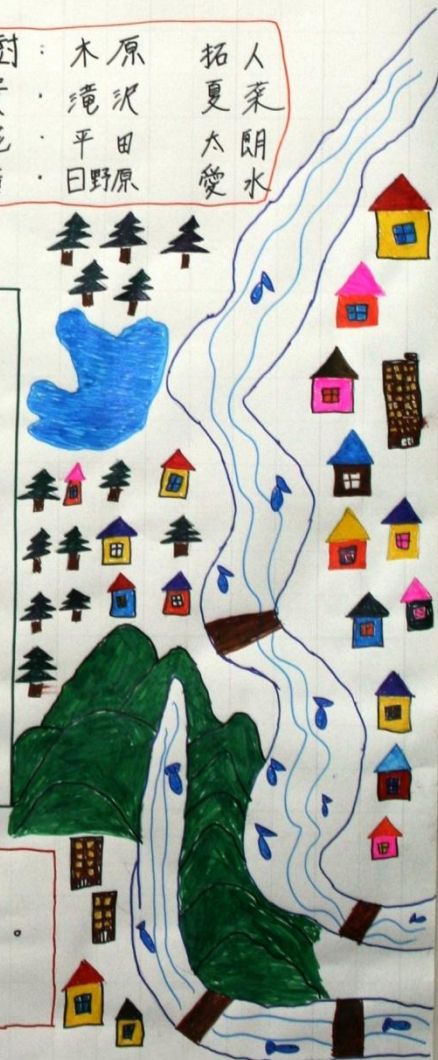
- | | | | |
|------|----|-----|----|
| ・ 永本 | 夏樹 | 木原 | 拓人 |
| ・ 大槻 | 幸貴 | 滝沢 | 夏菜 |
| ・ 折井 | 優花 | 平田 | 太朗 |
| ・ 古屋 | 采音 | 日野原 | 愛水 |

【 悪い所の改善策 】

- ・ 野焼き → クリーンセンターに持っていく。
- ・ ゴミの分別 → 回覧板などで説明する。
- ・ 緑が少ない → 歩道等にプランターを設置する。
(市街地)
- ・ 食品ロスについて → 消費期限の近い物から食べる。
- ・ ポイ捨て → ゴミバコを多く設置する。

【 まとめ 】

- ・ ふり返ってみると、良い所がいかにあった。
- ・ 悪いところを直すには、松本市民全員が、協力しないといけないと思いました。



環境を守るため協力してください!

(5) 各出席者からのコメント

■ 市長

- ・ まちづくりのことを人から言われて考えるのではなく、自主的に考えてくれてうれしく思います。
- ・ まちづくりは、市役所だけでやるのは限界があるので、みんなでやるのが大切です。
- ・ 提言をしておしまいになるのではなく、次の活動で、市役所からの答えに「反論」していくことで議論が始まります。今回の提言は、むしろ活動のスタートです。
- ・ みんなで危機(きき)意識(いしき)を高めることは大切です。これからは、防災だけでなく減災の取組みも必要です。
- ・ 松本は「良いまち」だと一般的に言われています。なので、今回提案してくれたように、悪いところを減らして、良いところをのばしていくと、もっと「良いまち」になっていくと思います。
- ・ 松本の PR について考えてくれましたが、PR することの効果を考えてことがありますか。PR をするとまちに経済効果というものが生まれます。それは、PR によって観光客が増えたと、松本でお金を使ってくれる人が増えたり、松本に住もうと思ってくれる人が増えて税金の収入が増えたりすることです。こういう良いことがたくさんあるから、PR は大切なのです。

■ 教育長

- ・ みんな、今回はいろんなことを提案してくれたけど、普通は、100のうち1つでも実現すれば大成功です。だから、今回提案したことが、全部実現しなくても、例えば、ポスターを作る、という提案があったけど、実際にみんなで作ってみれば、今回の提案が1つ実現して、大成功なんです。
- ・ やろうかどうしようか、迷うこともあると思うけど、失敗したらまた戻ってやり直せばいいだけなので、迷ったらまずやってみてください。
- ・ みんなは、今大人になるための「転換期」です。「転換期」には、何でもこうだと決めつけるのではなく「本当?」「どうして?」と考えて、大人をうたがってみてください。

■ 政策部長

- ・ 市役所にしてほしいことだけでなく、自分たちで何ができるかを考えているのが良いと思います。
- ・ 例えば、熊本地震のときには、若い人が避難所で足りないものなどの情報を SNS でやりとりして発信していました。こういうことは、大人や高齢者よりも、みんなのような若い人の方が得意です。このように、若いみんなだからこそできることに取り組んでほしいです。
- ・ 雪かきのことは、地域の中で誰がどこの雪をかくのかちゃんと分担したり、高齢で雪かきができない人がどこにいるのか分かるようにしておいて、手伝ってあげることも大切です。
- ・ 松本に初めて来る人は、PR で増やすことができます。ですが、リピーターは、PR で増やすことはできません。松本に来てくれた人と、みんなが仲良くして、「松本に一度行って良かったから、また来たい」と思ってもらえるようにすることが大切です。

■ 環境部長

- ・ 発表のとき、「松本にも良いところがたくさんあった」と言ってくれました。悪いところを直すだけでなく、良いところを更に伸ばすような取組みも考えていきたいです。
- ・ ごみ箱を多く設置するのも、まちからごみをなくす方法のひとつですが、市では、公園からごみ箱をなくして、ごみを家に持ち帰ってもらうようにしています。これは、公園などのごみ箱にまとめて捨ててしまうと、ごみになってしまうものが、家に持ち帰ってきちんと分別することで、リサイクルできるようになり、ごみが減らせるからです。

- ・ 模造紙に、木や山や川、家などの絵がかいてあって、こういうまちにしたいとみんなが考えていることが伝わってきて、良かったと思います。

■ 観光部長

- ・ 松本城などの場所もそうですが、松本では特産物のことも PR しています。
- ・ 今年は、無料の Wi-Fi 設備を 4 箇所設置して「おもてなし」に取り組みました。
- ・ 日本人観光客のうち、松本を訪れているのは、みんなのお父さんやお母さんくらいの年齢の人、またはそれ以上の年齢の人が多いです。1 日でも長く松本に滞在(たいざい)してもらっただけでなく、若い人にもぜひ松本に来てほしいと考えています。

■ 建設部長

- ・ 雪かきの話など、市民の生活にかかわる大切な内容でした。
- ・ 松本市にある道路を全部つなげると、2, 306 km もの長さになります。これは、北海道の札幌市から沖縄県的那覇市までを直線でつないだ長さと同じくらいです。そんな長い道路の全部を一気に雪かきするのは大変なので、市では、バスが走っている道路から優先して雪かきしています。
- ・ 渋滞が起きる原因のひとつは、車の量の多さです。なので、市では、パークアンドライドといって、駅まで車できて、駅からは電車を使ってもらい、まちを走る車を減らす取り組みを進めています。
- ・ ビルの高さ制限は、実は、地域によって設定されています。例えば、松本城のまわりは、お城が目立つように、建物の高さを制限しています。

■ 危機管理課長

- ・ 松本市は、地震が起きる確率のとても高いまちです。なので、防災訓練はとても大切です。
- ・ 防災訓練の回数を増やすことは、丁度考えているところでした。今は、年に 4 回の防災訓練を行っていて、そのうち 2 回は市民の人にも参加してもらっています。みんなも参加してみてください。
- ・ また、防災訓練だけでなく、学校での防災学習にも取り組んでいます。
- ・ もしも、災害が起きて、みんながその時に助かったら、困っている人を助けてあげてください。こういう助け合いは、「共助」といって、災害が起こったときにとても大切なことです。
- ・ 災害は初めて起こるものではありません。昔から何度もあったことで、それを乗り越えて今があります。災害は必ず乗り越えられると信じて、備えていくことが大切です。

5 活動発表

これまでの活動について、「松本子どもの権利の日」市民フォーラムで発表しました。

- (1) 日時 平成 28 年 11 月 27 日（日） 午後 1 時 30 分から 4 時
- (2) 会場 あがたの森文化会館 講堂
- (3) 内容
 - ア オープニングセレモニー 清水小学校合唱部
 - イ 開会式・表彰式
 - ウ 子どもの発表 松本市ジュニア・リーダー会／まつもと子ども未来委員会

エ 講演会

(ア) 演題 「子どものチカラをささえるために～子どもの参加と居場所づくり～」

(イ) 講師 浜田 進士 氏（子どもの権利条約総合研究所 関西事務所所長）

オ 大会宣言・閉会式

6 テーマについてさらに学習

提言の際、「提言は議論の終わりではなくスタート」と市長からコメントがあったことや、後半の活動について、委員から「観光客について調べたい」という意見があったことから、「松本のPRについて」もう一度詳しく学習しました。

みんなからの意見

- ◆ 松本地域のことを知らない人が、7.8%もいるので、新聞などに宣伝記事を書いてもらう。
- ◆ 県外のスーパーで、松本のスイーツを売る。
- ◆ キッセイ文化ホールなどで、有名な人にコンサートをしてもらい、そこで松本の特産品を売る。
【市の担当者からのコメント：とても良い案だと思います。だけど、キッセイ文化ホールは長野県のもので、実は松本市のものではありません。せっかくなので、松本市のものである、「まつもと市民芸術館」でコンサートをしてPRすると、もっと良いのかもしれない。】
- ◆ 山賊焼きを広めるために、県外のイベントに参加する。
- ◆ 若い人たちに山賊焼きを食べてもらうためにアレンジメニューをつくる
- ◆ 山賊焼きを家でも食べられるように、山賊焼きの料理教室をやる
【市の担当者からのコメント：「山賊焼き」のことを、いろいろ考えてくれてありがとうございます。皆さん、給食やお店だけではなくて、おうちでも、ぜひ山賊焼きを自分で作って、食べてみてください。おいしさを、皆さんから広めるのも、良いPRになると思います。】

VI 先進都市との子ども交流事業

1 札幌市・奈井江町との子ども交流事業

(1) 趣旨

松本市の子どもたちが、本市と同様に子どもの権利条例のある、札幌市子ども議会の子ども及び奈井江町の子どもと、札幌市で交流し、札幌市の歴史や風土を学んで視野を広げるとともに、将来の松本のまちのあり方を考える契機とする交流事業を実施するもの。

- (2) 対象者 ア 松本市内の小学校５年生から高校２年生 １０名
 イ 札幌市・奈井江町の小学生から高校生 各市町１０名

- (3) 期間 平成２８年８月６日（土）～９日（火）

- (4) 宿泊場所 札幌市内

(5) 事業内容

８月６日（土） 移動日、北海道博物館見学

７日（日） 市内見学、PMF オーケストラピクニックコンサート鑑賞
札幌ウィンタースポーツミュージアム、大倉山ジャンプ台見学

８日（月） 第２回‘３まち’子ども交流事業（2017 冬季アジア札幌大会に
向けた競技場見学、意見交換、札幌市豊平区長への提言など）

※ 豊平区は、2017 冬季アジア札幌大会の主会場

９日（火） 札幌中央卸売市場、サッポロさとらんど見学、移動日

※ 第２回‘３まち’子ども交流事業

ア 目的

2017 冬季アジア札幌大会の開催に向けた、地域の機運の醸成と活性化を図るための地域振興策など「おもてなし」の取組について、道内外それぞれの視点から、子どもの斬新なアイデアを豊平区長及び豊平区ネットワーク会議「おもてなし部会」に提言する。

イ 内容

- (ア) 開会式の会場である「札幌ドーム」及びカーリングの競技会場である「どうぎんカーリングスタジアム」の視察（カーリング体験）など
(イ) 会場までのアクセスや会場内の雰囲気、観戦時の配慮などについて子ども同士で意見交換を行い、区長等に提言
(ウ) 提言を受けて、区長等との意見交換

(6) 事前・事後学習会

参加者による、事前・事後学習を行いました。

- ア 第１回 平成２８年６月１２日（日） 午前１０時から１２時 大手公民館
イ 第２回 平成２８年７月１０日（日） 午前１０時３０分から１２時 あがたの森文化会館
ウ 第３回 平成２８年８月 ４日（木） 午後３時から５時 松本市役所
エ 第４回 平成２８年８月２８日（日） 午前１０時３０分から１２時 中央公民館

札幌市・奈井江町との子ども交流事業の日程

日 付	時 間	内 容
8/6 (土)	11:30	松本空港 集合
	12:30	松本空港 発
	14:00	新千歳空港 着・発
	15:00	新札幌駅 着・発
	15:30	北海道博物館 着 係員によるグループレクチャー後、自由見学
	16:30	北海道博物館 発
	17:00	宿泊先 着
8/7 (日)	8:50	宿泊先 発
	9:00	札幌駅 着 ボランティアガイドの案内で市内見学
	10:30	札幌駅 発
	11:00	札幌芸術の森 着、昼食
	12:00	PMF オーケストラ ピクニックコンサート鑑賞
	14:00	札幌芸術の森 発
	14:30	大倉山展望台 着 係員の案内で札幌ウィンタースポーツミュージアム、大倉山ジャンプ台見学
	16:30	大倉山展望台 発
	17:00	宿泊先 着
8/8 (月)	8:30	宿泊先 発
	8:50	札幌市月寒公民館 着
	9:00	交流事業開始
	9:50	札幌市月寒公民館 発
	10:00	どうぎんカーリングスタジアム 着 カーリング体験 (60 分)、スタジアム見学 (30 分)
	11:30	どうぎんカーリングスタジアム 発
	11:40	札幌市月寒公民館 着、昼食
	12:30	札幌市月寒公民館 発
	13:00	札幌ドーム 着 札幌ドームツアーアテンダントの案内で見学
	14:00	札幌ドーム 発
	14:30	札幌市月寒公民館 着
	17:00	交流事業終了、札幌市月寒公民館 発
	17:30	宿泊先 着
8/9 (火)	5:00	宿泊先 発
	5:30	札幌中央卸売市場 着 係員の案内で鮮魚の競りを見学
	6:30	札幌中央卸売市場 発
	7:00	宿泊先 着
	9:00	宿泊先 発
	9:30	サッポロさとらんど 着 副施設長の案内で施設見学、乳製品加工場 (ミルクの郷) 自由見学
	10:30	サッポロさとらんど 発
	12:00	新千歳空港 着、昼食
	14:30	新千歳空港 発
	16:05	松本空港 着・解散

2 地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウム

(1) 期日 平成28年10月8日(土)～9日(日)

(2) 場所 宝塚市

(3) 主催 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2016実行委員会

(4) 内容

《10月8日(土)》

オープニングセレモニー

基調講演

パネルディスカッション

「子どもの格差・貧困問題と子ども支援・子育て支援～子どもにやさしいまちづくりをめざして～」

特別報告

「子ども施策の現状と課題～『子ども施策全国自治体調査』の結果から～」

《10月9日(日)》

第4分科会「子ども参加」

(5) 参加者

まつもと子ども未来委員会 委員3名(中学生2名、高校生1名)

こども育成課 職員1名

(6) 分科会での発言内容

- ・ 親に言われて委員会に入ったが、今は楽しいと思って参加している。
- ・ 同じ学校ではない人や、年齢が違う人と交流できるので勉強になるし、市長さんへの提言など、なかなか体験できないことを経験できる。
- ・ 意見を大事にしてもらえてうれしい。
- ・ 最初は意見を言うのが恥ずかしかったけれど、今はだんだん発言できるようになった。
- ・ 委員会に友だちを誘ってみたけれど、ガールスカウトなどで忙しくて断られてしまう。参加してみると、市内見学をしたり札幌に行ったりして楽しいので、もっとみんなに参加したらいいのと思う。
- ・ イベントなどを新しくやってみたいと思うけれど、ちゃんとやるなら、今日「やりたい」と言って明日すぐできるものじゃなくて、お金もかかったりするので、これから時間をかけて考えてみたい。

(7) 参加者の感想(市民フォーラムでの発言、委員会最終回での発言)

- ・ 初めての場所に行けて良かった。
- ・ 分科会できちんと発表できて良かった。
- ・ 大人の人の意見をきいて自分の意見を深めることができた。
- ・ 自分の考え方を広げられた。知らなかったことも知ることができた。

3 宗像市・福津市との子ども交流事業

(1) 趣旨

子どもの権利条例のある福岡県宗像市及び福津市の子どもと松本市の子どもが、学校・地域・年齢を越えて交流し、互いの異なる文化や自然に触れる体験を通して視野を広げるため、標記交流事業を松本市で実施するものです。

(2) 主催

松本市、宗像市・福津市小学生県外交流使節団実行委員会

(3) 対象者

- ア 松本市内の小学校4年生、5年生 10名
(まつもと子ども未来委員会委員2名、一般公募の小学生8名)
- イ 宗像市、福津市の小学校4年生、5年生 各市10名

(4) 期間

平成29年1月4日(水)～6日(金)

※松本市の子どもは1月4日(水)から1月5日(木)まで参加します。

(5) 宿泊場所

松本市乗鞍

(6) 事業内容

- 1月4日(水) 歓迎式、松本城・時計博物館・大名町・縄手通りの見学、交流会
- 5日(木) 乗鞍高原において雪山体験
- 6日(金) 松本市立博物館見学、宗像市・福津市の子どもによる市長表敬訪問

(7) 事前・事後学習会

参加者による事前・事後学習を行いました。

- ア 第1回 平成28年10月22日(土) 午前10時から12時 まつもと市民芸術館
- イ 第2回 平成28年11月13日(日) 午前10時から12時 あがたの森文化会館
- ウ 第3回 平成28年12月11日(日) 午前10時から12時 あがたの森文化会館
- エ 第4回 平成29年 1月22日(日) 午前10時から12時 あがたの森文化会館

宗像市・福津市との子ども交流事業日程

日付	時間	日程	備考
1月4日(水)	11:50	信州まつもと空港着(FDA)	
	12:10	信州まつもと空港発(松本市庁用バス)	
	13:00	歓迎式(市役所 議員協議会室)	松本の児童
	13:30	松本城周辺フィールドワーク	12時30分集合
		(松本城、時計博物館、大名町等)	
	15:30	松本市役所発(市庁用バス)	松本の児童たちとの交流事業
	17:00	民宿到着、入所式	
	18:00	夕食	
	19:00	入浴	
	20:00	交流会	
	22:00	消灯	
1月5日(木)	6:00	起床	
	6:30	雪かき体験、朝の準備	
	7:30	朝食	
	8:45	ヒュッテほし 発(庁用バス)	
	9:00	善五郎の滝入口着	
		スノーシュー体験	
		氷瀑の善五郎の滝見学	
	11:45	善五郎の滝入口発(庁用バス)	
	12:00	昼食(民宿)	
	13:00	乗鞍高原雪遊び	
		スノーフラッグ、アイスクリーム作り等	松本の子どもは16:00発
	15:30	お別れ会(民宿)	庁用バスで
	16:15	そば打ち体験	市役所へ午後5時30分着
	18:00	夕食	
	19:00	入浴	
	20:00	宗像市・福津市児童交流会	
	22:00	消灯	
1月6日(金)	6:00	起床	
	6:30	雪かき体験、朝の準備	
	7:30	朝食	
	9:30	民宿 出発(庁用バス)	
	11:00	松本市立博物館	
	12:00	昼食	
	13:20	市長表敬訪問	13:20~13:40
	13:50	松本市役所発(庁用バス)	
	14:40	道の駅「今井恵みの里」見学	14:40~15:30
	15:40	信州まつもと空港着(庁用バス)	
	16:30	信州松本空港発(FDA)	

VII その他参加者の興味・関心のある事業

1 学都松本フォーラム

(1) 趣旨

学都松本推進協議会から今年度の学都松本フォーラムの分科会に参加・運営し、博物館と協力して、「子どもと文化財」というテーマで、文化財について考えました。



(2) 内容

未来委員会や学校の行事で見たりした文化財について、委員の感想等を発表した後で、旧制高等学校記念館の学芸員に「あがたの森ツアー」として、記念館の展示物やあがたの森の建物の説明をしてもらい、最後に、分科会を通しての感想等を話し合う。

(3) 参加者の感想（当日及び未来委員会最終回での感想から）

- ・ あがたの森の建物が文化財だということは知らなかった。
- ・ あがたの森は、昔の人たちが一生懸命残してくれた建物なのだと分かった。
- ・ 松本城は階段が急だったりして大変だけど、大変だからと言ってエレベーターをつけたりするのではなくて、昔のまま残すのが大事だと思った。これからも大事にしたい。
- ・ 昔のあがたの森の模型が見られて勉強になった。

2 チャオ！バンビーニ

(1) 趣旨

まつもと市民芸術館主催のイベント「チャオ！バンビーニ」に、「スイッチ総研」という演劇グループと一緒に参加して「まつもとチャオ！バンビーニスイッチ」を行いました。



(2) 内容

「スイッチ」を押すと「何か」が起こる3～30秒の小さな演劇。「スイッチ」の傍に書かれている「あるお願いごと」を実行することで、「スイッチ」がONになり、小さな演劇が始まります。



お願いごと＝サングラスをかけてください。
サングラスをかけると…「あの人カッコいい～！」

お願いごと＝地図を指さしてください。
地図を指さすと…「道に迷ってたので、助かりました！」





お願いごと＝おやきを持ってください。
おやきを持つと…「それ、最後の一個のおやき…！」



お願いごと＝ハケを持ってください。
ハケを持つと…「師匠、この大作ももうすぐ完成ですね！」



(3) 参加者の感想

- ・ 緊張したけど、ちゃんとできた。
- ・ 来た人が楽しんでくれて良かった。
- ・ 何回もスイッチを押しに来る人がいて困ったけど、楽しかった。
- ・ またスイッチをやるときがあればやりたい。

3 発掘調査体験

(1) 趣旨

松本市文化財課の協力を得て、松本市土居尻で、遺跡の発掘調査を体験しました。

(2) 内容

土居尻の概要や、発掘調査の方法、意義について、文化財課から説明を受けた後に、実際に発掘調査を体験。

(3) 参加者の感想（当日及び未来委員会最終回での感想から）

- ・ 最初は疲れたけど、やっているうちに楽しくなって、もっとやりたくなった。
- ・ 普通だと体験できないことで、楽しかった。



VIII アンケート結果

1 第2期 まつもと子ども未来委員会 委員向けアンケート集計結果

(委員36名中18名回答)

未来委員会に参加してみて、どうでしたか？それは、どうして？

■ 楽しかった 14人

- ・ 色々な学年、学校の人達と関わる、というあまりない事ができ、色々な考えを知ることや深めることができたからです。
- ・ 松本市の良いところや悪い所などを話し合っ、よりよい松本市をつくっていくのがとても楽しかったし、市内見学も楽しかった。市長さんへの提言も良い経験になった。
- ・ 話し合いなどで
- ・ 今まで知らなかった松本の歴史や文化財についてよく知ることができたから。
- ・ たくさんのことがわかってよかったから。友達が出来たから。
- ・ 交流事業でふだん行けない県外に行って、そこの子供たちと意見交換ができたのでとてもたのしかったから。自分の意見をたくさん言えたから。
- ・ 松本市の考えや松本市のことについて知ることができたから。また、あまりない体験（市長への提言など）をすることができてよかったから。
- ・ 松本市のことについてたくさんしれたから
- ・ 新しく友達ができたから
- ・ 見学をして色々なことが学べたから。
- ・ 見学などで知らなかったことも知ることができたから。
- ・ 市で取り組んでいることについてよく知ったり、そこからいろいろなことを考えられたから。

■ まあまあ楽しかった 3人

- ・ ほかの予定と重なって行けないこともあったから
- ・ いろいろな活動に参加できたから
- ・ 松本の事について自分で考えを述べたり、他の人の意見を聞いたりして、「なるほど」と思ったりできたから。

■ あまり楽しくなかった 0人

■ 楽しくなかった 1人

- ・ 最初は楽しかったけどだんだんつまらなくなったから。

未来委員会の活動で、一番思い出に残っていることを1～3つ選んでください。

■ 学習会 0人

■ 市内のバス見学 8人

■ 市長さんへの提言 3人

■ 交流事業 7人

■ 学都松本フォーラム 1人

■ 発掘体験 4人

■ チャオ！バンビーニ 3人

■ 市民フォーラム 1人

- そのほか 2人
- ・ 普段の話し合い
 - ・ 話し合い

松本市のことに、興味・関心はありますか。

- ある 15人
- 少しある 2人
- あまりない 0人
- ない 1人

みんなの前で意見を言うのは、はずかしいと思いますか。

- そう思う 3人
- ときどきそう思う 6人
- あまりそう思わない 5人
- そう思わない 4人

自分の言いたいことを言えないことはありますか

- よくある 5人
- ときどきある 5人
- あまりない 5人
- ない 3人

お家で、お父さんやお母さんに、あなたの考えや思っていることを言うことはありますか。

- よくある 8人
- ときどきある 4人
- あまりない 4人
- ない 2人

学校で、先生に、あなたの考えや思っていることを言うことはありますか。

- よくある 5人
- ときどきある 5人
- あまりない 6人
- ない 1人

地区の行事を決めるときなどに、あなたの考えや思っていることを言うことはありますか。

- よくある 5人
- ときどきある 5人
- あまりない 6人
- ない 2人

第3期の未来委員会に参加したいと思いますか。

- そう思う 9人

- ・ 今回参加して新たに学ぶことも多く、楽しかったからです。他の学校の人達と関わる、ということができたからです。
- ・ 今回も第1期のときも、とても楽しかったから、もっとつづけたいと思う。でも、部活とかでいそがしいから、次回はむずかしいかも知れない。
- ・ 入っていて楽しかったから。
- ・ 今年よりも、もっと多くのイベントに参加したいから。
- ・ もっと松本市のことがしりたいから
- ・ もっと松本市について知りたいと思うし、松本のためにできることももっとあると思うから。
- ・ もっと松本市のことを知りたいから
- ・ また新しい委員と一緒に松本の事を考えたいから。
- ・ 今までの活動が楽しかったので、また委員会や交流事業などをやりたいと思ったから。

■ すこしそう思う 2人

- ・ ほかの予定と重なることがあるから。
- ・ 体験とか見学とかが楽しかったから。

■ あまりそう思わない 4人

- ・ 2年間、委員会に参加したが、自分たちの意見が市政を変えたとはあまり思えないから。
- ・ 中学生になって色々大変になると思うから。
- ・ 勉強のこともあるから。
- ・ 聞き役だなと思うから。

■ そう思わない 2人

- ・ めんどくさいしいそがしくなるから。
- ・ あまり未来委員会に参加することが部活や大会、検定などで難しくなると思うから。

未来委員会の感想を自由に書いてください。

- ・ 1年間という短い期間での活動でしたが、多くの経験が出来て、行くことのない宝塚市に行くことができて、現地の人と多く関わるのができてとても良かったです。貴重な体験をさせて下さって本当にありがとうございました。
- ・ 参加できないときもあったけど、話し合いや見学は本当に楽しかった。学校ではあまり話し合ったりしないから、よかった。市長さんへの提言は、自分の言葉で発言できたからよかった。良い体験になったと思う。
- ・ 松本の知らないことも知れて良かった。
- ・ 話し合いでちゃんと話しあえた。北海道のかんこうが楽しかった。
- ・ もっと委員会で出た意見が市政に適用されるようにした方がいいと思う。目的が松本市についての子どもによる意見交換なのか、「松本市子どもの権利に関する条例」を他の市町村にPRすることなのか分からなくなっているの、はっきりさせるべきだと思う。目的が意見交換ならば、年1回や2回ではなく、もっと市長さんに意見が伝わる機会を増やした方がいいと思う。目的が条例のPRならば、税金はもっと有効に使うべきだと思う。来年からの活動ももう一度見直すべきだと思う。委員はイベントの人足ではなく、松本市の議員として扱ってほしい。いろいろ書きましたが、来年からの活動に活かしてください。
- ・ 人前で意見を言うことは少なかったけど、みんなの意見を聞いていると、自分が思いつかなかったものもあり、聞いていてとても面白かったです。
- ・ 話し合いをして、松本市のことがわかってよかった。もっと松本市のことが好きになった。

- ・ とても楽しく活動をさせていただきました。交流事業には2つも参加させてもらって、とても良い経験になりました。部活等で参加できないこともあったけれど、たくさん参加することができました。市役所のみなさん本当にありがとうございました。
- ・ けんがくは楽しくて勉強になった。
- ・ この委員会を通じて松本市のいろいろなことについて知ることができてよかったです。この委員会にこれる機会は少なかったけれど市長提言などに参加することができてよかったです。また、この委員会の日程が結構きついで、もう少し1回あたりの時間を減らしてもらおうと参加しやすくなると思います。
- ・ 松本市のれきしなどがしれてたのしかった。とくに上高地の見学がたのしかったです。第三期もやりたいです。
- ・ いろいろな事が自分でもできる事で、びっくりしました。新しい友達ができた。いろいろ新しい事に取り組んだ。
- ・ 最初はいやだったけど見学などをしていくうちに楽しくなってきました。やって良かったなと思いました。
- ・ 自分が知らなかったことが未来委員会を通して知れてよかった。
- ・ うまく意見を言うことができなかったけれど、自分の生活では新聞を読むようになったし、テレビのニュースで「ふーん」と考えるようになったかなと思う。松本っていいなと思った。
- ・ 毎回いろいろなことができて楽しかったです。来年は高校生になるので、予定が合わないこともあるかもしれませんが、たくさん参加したいです。
- ・ 良い経験になりました。

2 第2期 まつもと子ども未来委員会 保護者向けアンケート集計結果

(34名中13名回答)

委員会の日程について（今期は原則第2、第4日曜日の午後に開催） ※複数回答1名、無回答1名

- 土曜日の午前が良い 2人
- 土曜日の午後が良い 1人
- 日曜日の午前が良い 0人
- 現状（日曜日の午後）で良い 8人
- その他 2人
 - ・ 第1、第3日曜日
 - ・ いつでも良いです。

委員会の回数について（今期は原則月に1～2回開催） ※無回答1名

- 現状のままで良い 11人
- 増やした方が良い 0人
- 減らした方が良い 0人
- その他 1人
 - ・ 回数は現状のままで良いと思いますが、松本地区のスポーツの大会などの日は、はずしていただけると、中学生も参加しやすいのではないのでしょうか。

開催場所について（今期は原則あがたの森で開催）

- 現状のままで良い 12人
- 他の場所が良い 0人
- 他の場所を含め、様々な施設で開催した方が良い 0人
- その他 1人

- ・ あがたの森に加えて、天気の良い日は、外での開催も良いのでは？

活動内容について、家庭でのお子さんとのお話のなかで感じたこと

- ・ 委員会に欠席する事なく参加でき、良かったです。委員会に出席しても、毎回10名ほどで少なく残念でした。
- ・ 人見知りもあり、友人が出来たという話はなかったです。が、もう一年やってみたいと言われ、楽しんでいたんだなあと思いました。
- ・ 自分の住む地域を身近に感じ、自分と関わりある事だという認識がもてるようになったかなと感じました。
- ・ 今年も委員会活動をととても楽しんでいました。様々な団体や世代の方と交流できたことがうれしかったようです。
- ・ 「お話をずっとすわって聞くことがなかなか難しく、参加型だとねむくならず聞ける」と申しております。
- ・ 未来委員会に参加しなければ体験できなかったであろう事や、多くの方々と交流したり、話を聞いたりする機会があったことは、良い経験になったと思います。
- ・ 楽しく参加していたと思います。特に見学に行ってきた時など楽しく話をしてくれました。
- ・ 自分は思う？と言葉にしていくことで、少しずつ世界が広がっていったのでは、と思います。貴重な機会をいただきましてどうもありがとうございました。
- ・ 活動を通して自分達の住んでいる松本の事をいろいろな角度から考えたり、知る事が出来、とても良い経験をすることができたと思います。
- ・ 自分たちで協力して作ったロゴをととても気に入っていて、良い思い出になっています。松本生まれではありませんが、松本が今まで以上に好きになり、大人になっても松本に住んでいたいようです。地域への愛着心を育てることに役立っていると感じます。
- ・ 上高地に行くことができようこんでございました。
- ・ 北海道への交流会参加や発掘など、様々な体験ができ、とても意欲的に活動していると思います。地域や社会に対する関心を持ち、自分の意見や意思をしっかりともてるようになってきていると思います。

未来委員会を開催するうえで、配慮してほしかったことはありますか

- ある 1人
 - ・ 駐車場のある場所をお願いしたい。
- ない 12人

その他、どんなことでも結構ですので、お気付きの点

- ・ 第3期も申し込みました。よろしくお願いします。
- ・ 所用等で欠席する時に連絡できるのは、とても良かったです。家庭では考えられないような経験をさせてもらってありがたいです。

- ・ もっと遊びなどを通して、委員同士の交流をはかってもよかったのかも…？と思います。せっかくなので。
- ・ 市の方にいつもやさしく子どもたちとおつきあいいただき、ありがたかったです。ありがとうございました。
- ・ 1年間、貴重な経験をさせていただき感謝しております。どうもありがとうございました。
- ・ せっかくの良い機会を与えていただいたのに、なかなか部活が忙しく、参加できず残念でした（本人より）両立するのは少し難しいと感じましたが、また、こうした機会があれば、日程を見て、参加したいと思っています。
- ・ 2年間参加させていただきました。色々な場所に連れて行っていただき、松本のことをより知ることができたと思います。ありがとうございました。
- ・ 部活との両立がむずかしく欠席する事もありましたが、職員の皆様のおかげで無事終える事が出来ました。ありがとうございました。

IX 資料

1 子ども交流事業参加者感想

(1) 松本市・札幌市・奈井江町子ども交流事業

上野 祐佳

北海道に行ってみて、たくさんの事を学んだり、体験したりしました。

私は、飛行機に乗るのが初めてで、少しきんちょうしました。でも、楽しかったです。飛行機から見る北海道は、やはり、長野とちがうことがよく分かりました。

北海道博物館では、アイヌ文化というのを学びました。聞いたことがなかったので、興味深かったです。

北海道は、長野より、すずしい気がしました。

北海道の人たちとも仲良くなれてよかったです。話し合いの時には、2017年の冬季アジア札幌大会に向けてのおもてなしについて、話し合いをしました。提言もしっかりできたのでよかったです。それと、カーリングを初めて体験しました。難しかったです。札幌ドームの見学へも行きました。とても広くて、びっくりしました。

とても貴重な体験ができたと思います。

最終日には、サッポロさとらんどという所へ行きました。

野菜や乳製品などについてのお話を聞きました。試食でもらったヨーグルトは絶品でした。とてもおいしかったです。

その他にも、PMF オーケストラピクニックコンサートに行ったり、大倉山展望台へ行きました。

PMF コンサートはとてもすてきで、一つ一つの楽器の音がしっかりしていて、聞いていて、気持ちがよかったです。



大倉山展望台では、スキージャンプ台がとってもはく力がありました。スケートやスキージャンプ、アイスホッケーのゲームが楽しめる所へも行きました。楽しかったです。

この4日間の交流事業で、初めて聞いたり、初めて見たり、初めて体験したりなど、たくさん初めてのことがありました。でも、しっかりと学ぶこともできたので、これからの松本市に活かしていきたいと思いました。

子ども交流事業に参加することになりました。うれしいと同時に、ちゃんと勉強して来ないといけな
いと思いました。

飛行機の中で、「北海道はどんなところだろう」、「ちゃんと勉強してこれるか」と心配でしたが、そ
んなことを思っている間に、北海道につきました。その後、北海道博物館に行きました。アイヌの人々
がどのように暮らしていたかすごくわかりました。あとマンモスの種類がわかりました。松本には博物
館があるけれど、北海道博物館はそれより五倍くらい大きくてビックリしました。これで一日目はおわ
りました。

二日目は、市内見学をしました。札幌市は松本より比べ物にならないほど大きくてビックリしました。
旧道庁では、河野常吉さんの事が書いてありました。その人は、松本市出身で、北海道の開たくにかか
わっていたことを知りました。

次に PMF のコンサートを聞きに行きました。すごくきれいな歌や音楽で、感動しました。



その後、大倉山ジャンプ台に行きました。まず、その
となりのウインタースポーツミュージアムで、スキージ
ャンプとクロスカントリーなどの体験をしました。スポ
ーツのことを学べられるところでした。本当はいかない
はずだったてん望台に行くことになりました。リフトで
上まで行きました。おりてから見た風景は、今まで見た
中で一番きれいでした。

三日目は、札幌市、奈井江町の子どもたちと交流しま
した。まずカーリング体験をしました。最初は、つるつるしていてうまくできなかったけど、すぐにな
れてうまくできました。カーリングをもっとやりたかったです。

次に、札幌ドームを見に行きました。野球場がサッカー場になるなんてビックリしました。ふだん見
えない所をたくさん見せてもらいました。その後、冬季アジア札幌大会にむけてのおもてなしについて
意見交かんをしました。見学や移動中に気付いたことの話し合いの中で、日かけが少ないや、札幌ドー
ムの芝をしく機会が電気で動いていてかんきょうにいい。などの意見が言えてよかったです。友達にな
った奈井江町の人に松本の PR をしてきました。

四日目は、札幌中央卸売市場に朝早くから行きました。
魚を売っているところを見ました。大きな声でねだんを
言っていました。あと、ターレの色は、魚のところだっ
たら水色、くだ物のところだったらオレンジ色、野菜の
ところだったら黄緑色ということがわかりました。

その後、サッポロさとらんどに行きました。牛にゆう
がどのように作られているか見ました。あと、ヨーグル
トを食べました。とてもおいしかったです。

新千歳空港から帰りました。松本空港より大きくて、国際線もありました。

最初は不安でしたが、交流会に参加してよかったと思いました。友達ができたり、札幌のことをたく
さん学べて、勉強になりました。

このことを使って、松本の街作りに活かしたいです。きちゃんな体験をさせていただいて本当にあり
がとうございました。



僕は今回、松本市・札幌市・奈井江町の代表者による、“さんまち”子ども交流で、松本市の代表として参加しました。



事前の施行への表敬訪問では、初めて市長としっかりしたお話をさせていただき、北海道に向けての抱負を、菅谷市長に聞いていただきました。北海道でも頑張りたいと、この訪問が励みになりました。

至らぬことも多く、未来委員会の先輩後輩に助けてもらって、どうにか役目を果たし、無事に帰ることができました。

一日目は、市の子ども育成課の皆さんにお見送りしてもらい、松本空港を出発

しました。飛行機に乗るのは、物心ついてからは初めてのことで、離陸した時にかかる重力や、窓からの景色にとっても感動しました。特に下北半島は、本当に地図帳に描いてある形をしており、自分の目で日本の地形を見ることができて、とてもうれしかったです。

新千歳空港から、四日間泊まるホテルを経由し、北海道博物館に行きました。

館内には、北海道の文化の発展が分かる、たくさんの展示物がありました。農業の技術が入らなかった北海道では、縄文時代の狩猟文化が基になった続縄文文化や、擦文文化が続き、絵を彫った石や、捕まえた生き物の骨などでできた道具も使っていたそうです。僕が見た中で一番印象に残ったのは、鹿の角を削って造られたスプーンです。熊がかたどられているのですが、顔の形がとてもそっくりで、アイヌの人たちは、とても器用なんだと思いました。

その後、ホテルに戻って自分たちの部屋に行くと、先ほどの北海道博物館や、その周囲の森林公園が見渡せました。松本よりはるかに大きく、ビルもたくさん立ち並ぶ札幌ですが、森が広がっていて、環境のことも考えられているように感じました。

二日目には、まず、電車で札幌駅まで行きました。カメラで撮ろうとしても、駅舎はレンズに映りきらないほどで、くらくらしそうになりました。

そこから赤レンガ庁舎に向かう途中、海からは離れているはずの札幌で、カモメが飛んでいるのを見つけました。近くを流れる豊平川をさかのぼってくるそうです。こんなところでも、自然とのつながりを見つけられて驚きました。

そして、到着した赤レンガ庁舎では、北海道の開拓の様子や、実際に使われた執務室を見ることができて、歴史を感じました。中でも、松本市出身の、河野常吉さんという人が、北海道開拓に貢献していたことを、初めて知りました。

その後、時計台やテレビ塔を見てから、地下鉄とバスに乗って、札幌芸術の森のPMF オーケストラの、ピクニックコンサートを見ました。ちょうど、僕たちぐらいの子供たちが「パイレーツオブカリビアン」や、「宇宙戦艦ヤマト」を演奏しているのを見る



と、OMFを思い出しました。楽都松本と札幌で、音楽の面からも交流できるのではと、思いました。

次に向かったのは、札幌オリンピックでスキージャンプの会場になった、大倉山展望台と、札幌ウィンタースポーツミュージアムです。オリンピックの選手たちの使用したウェアをみたり、フィギュアスケートのスピン、ホッケーのキーパーなど、たくさんの協議を体験したりしました。

リフトを使って登った展望台では、札幌の街並みを一望しました。松本と違い、山に囲まれていない部分があるため、地平線がかすんで見えて、言葉を失いました。

三日目は、今回の肝である、札幌市や奈井江町の人たちとの交流が、札幌市豊平区でありました。

札幌市では、来年の二月に、アジア各国のウィンタースポーツの大会である、冬季アジア大会が開催されます。今回の目的は、大会の観戦に訪れた外国人の方への、札幌からのおもてなしを考えるため、会場になる建物や、そこまでの街並みを見て、その様子から改善点や、おもてなしのアイディアを出すことです。

まず、カーリング競技の会場の、どうぎんカーリングスタジアムの見学に行きました。

ここでは、カーリングの体験をしました。氷の上で立つ練習や、ストーンを投げる練習など、初めての体験でしたが、最後はみんなでミニゲームをして、北海道の人たちとも仲良くなれました。

その後、昼食をはさんで札幌ドームへ行きました。ちょうど前日にサッカーの試合があったため、グラウンドを野球用にもどす作業をしていました。人工の芝を、たくさんの人が広げている様子は壮観でした。



ここで驚いたことが、ドームの周りには、たくさんの自然が広がっていたことです。札幌ドームは、建物の多くが立ち並ぶ中に立地していますが、チョウをはじめとした昆虫や、野鳥なども観察できるそうです。実際、僕も、大きなアゲハチョウを見ました。札幌は、自然と街との色分けがはっきりしている松本に比べ、市街地にまで自然があるのだな、と思いました。松本の市街地も、あんな生き物を見られるようにしてほしいです。



公民館に戻ってからの話し合いでは、みんなで積極的に意見を出し合えたと思います。特に、奈井江町の人からは、町で行っているゴミ拾い活動をもとにしたアイディアが出るなど、いろいろな考え方に触れることができ、とても有意義な話し合いになりました。

最後に、豊平区長さんへの提言を行いました。しっかりと受け答えができたと思います。その後の区長さんからの質問では、「松本市の名所について教えてください」ということで、未来委員のみんなで、開智学校などの、松本城以外にもある、いろいろな観光地のことを話させていただきました。

札幌市や、奈井江町の人も熱心に聞いてくれたのがうれしかったです。

最終日は、朝早くから、札幌市中央卸売市場を見学しました。大きなマグロのせりなど、信州では見られない、魚介類のせりが見られて、とても面白かったです。

朝食の後にい合ったサッポロさとらんどでは、おいしいヨーグルトを食べました。札幌の農作物も見

させてもらい、とても勉強になりました。

それから、僕たちは新千歳空港に行き、松本へ帰りました。北海道の人たちとは、ずいぶん仲良くなれたし、いろいろなものが見られて、見聞も広がりました。この四日間は、とても思い出に残るものになったと思います。

この機会を作ってくださった、松本市、札幌市、奈井江町の皆さん。本当にありがとうございました。



ぼくは、お婆のけっこん式で先に札幌に行っていたので仲間たちとは、札幌市内のホテルで合流しました。その後タクシーで北海道博物館に行きました。北海道の自然やアイヌ民族の文化、か石などがてんじされていました。ぼくは、大きなマンモスゾウがいてとてもびっくりしました。



二日目は、朝から札幌市内を見学しました。最初は、旧北海道庁を見学しました。かい段が急でした、次に時計台に行きました。ビルにかこまれていました。次にテレビとうに行きました。そんなに高くありませんでした。その次にPMFオーケストラを聞きながら昼ごはんを食べました。その後大倉山ジャンプ台にのぼりました。とてもけしきがよかったです。

三日目は、札幌と奈井江町であつまりました。カーリングをやりました。すべってむずかしかったです。その次札幌ドームにいきました。とってもでかかったです。次におもてなしについて意見交かんをしました。

四日目は、朝はやくから中央卸売市場を見学しました。マグロのせりを見ました。次にさっぽろさとらんどに行って牛にゅうを作っている工場を見学しました。ヨーグルトを食べました。千とせ空こうに言うておひるを食べたあと松本にかえりました。



一日目は、北海道博物館に行きました。

中に入って、一番さいしょに見たのは、ナウマンゾウのほねと、マンモスのほねでした。ものすごく大きくておどろきました。

二日目は、大倉山展望台に行きました。行く時にリフトにのりました。てんぼう台でソフトクリームを食べました。長野県のものよりすごくおいしかったです。あとガチャガチャをしました。そして、てんぼう台から見た景色がすごく広くておもしろかったです。

三日目は、さっぽろの子ども達とカーリングをしました。そしてカーリングのかた方のくつすべて大変でした。だからミニゲームをする時はすべるのでカバーをつけたのですべらなくて、楽しくて良かったです。

それから、さっぽろドームに行きました。野球場にもサッカー場にもなってますすごいと思いました。野球選手が練習する所でボールを投げさせてもらいました。



四日目は、サッポロさとらんどに行ってきました。ぎゅうにゅうやヨーグルトを作っている所を見ました。リンゴが入ったヨーグルトを食べました。でもそんなにおいしくなかったです。

さっぽろのいんしょうは、時計台が思ったよりかなり小さかったです。公園が多いと思いました。そして、古い建物が多いと思いました。



札幌へ着いて、まず思ったことは「都会だな」ということです。建物は大きくて、地下鉄も発達していました。

松本でもいかせると思ったことは、一日目に行った北海道博物館で、スマホを活用していたことです。例えばそこにスマホをかざすとそれに関する情報が出てきたりします。これは松本でもいかせると思います。また、展示に対する工夫では、二種のゾウ（ナウマンゾウとマンモス）が一番に目に入ってきて、とても印象に残りました。これは松本美術館にある大きな花のオブジェと似ていました。



おもてなしの点は、月寒公民館に行くときに、街路樹の間に大きな空気清浄機があったことです。多分、札幌の方が松本よりも都会なので、空気清浄機は松本に必要なかもしれませんが、おどろきました。他には札幌ドームに行ったときに、説明してくれた人が、台本も見ずにすらすら説明をしてくれて、おどろきました。それと、どこも、程よく冷房が効いていてよかったです。カーリング場ではシューズをはいたままはけるスリッパがトイレにおいてあったことです。

このように、札幌市はとてもすごしやすく、松本市と同じくらい、いいところでした。



感想のまとめとすれば、松本にいかせることは2つありました。美術館や博物館で、スマートフォンを使ったサービスをはじめたらどうかということと、すごく暑い所がたまにあるので、冷房を少しでもいれたらいいかなということです。

北海道は食べ物がおいしいし、涼しいし、とてもたのしかったです。松本にいかせることを見ると同時に、観光も楽しめました。

(2) 松本市・宗像市・福津市子ども交流事業

交流事業に参加して

附属松本小 浅井 悠衣華

福岡の人たちとの交流事業の募集があつて、どんなことをするのだろう？と思い、考えてみたら、福岡のことは何も知らないし、福岡の同じ年れいの人と仲良くなれたらな、なれるといいなあと思い、応募しました。



事前学習会は、知らない人ばかりできんちょうしたけど、だんだん松本の人たちとも仲良くなれたし、福岡のことや松本のことを楽しく知ることができて、福岡の人たちと会うのが、もっとわくわくしてきました。勉強会は、「松本市子どもの権利に関する条例」や松本・宗像・福津の人口など色いろ調べたり、比べることができて、住んでいる松本のこともあまり知らなかったことに気付いたり、宗像・沖ノ島と関連遺産群の勉強で、三女神のことも知ったし、他にも色いろなことを学べたことが、とてもとてもためになりました。

待ちに待った福岡の人たちとの1日目は、松本城見学、町見学、時計博物館見学で、松本城は登ったことはあったけど、あまりよく知らなかったのので、更に色いろ学びながら登ることができたり、町見学では、今まで知らなかった、町の名前の意味が分かったり、時計博物館では、時計のしくみや昔の時計の読み方を知ることができ、また、実際に福岡の人たちと話をしていると「寒い」と言っていて「何で？」と聞いたら「福岡はもっとあたたかいから！」と言われて、福岡があたたかいということは天気予報とかで知ってはいたけど、福岡の人にとっては、松本は寒いんだなあと改めて感じたりしました。

2日目は、仲良くなったお友達とおった池の上に乗ったり、こった滝をみたり……。滝はすごくはく力がありました。他にも色いろ一緒に体験しましたが、みんなで作ったアイスクリームの味は忘れられません。

交流事業に参加させてもらったおかげで、知っているように知らなかった松本のことも、福岡の福津市・宗像市のことも福岡の人たちと一緒に色いろ学べてとても楽しい思い出になりました。今度は福岡のことを福岡でもっともっと知りたくなりました。



ぼくは、1月4日と5日に、乗くらで宗像市・福津市小学生県外交流使節団と松本市の交流に参加しました。

ぼくは、初めて見る乗くらが広いことにびっくりして、福岡の子たちは、初めて見る雪にとってもびっくりしていました。

この二日間でぼくが心に残ったことは、二つあります。



一つ目は、4日にやったクイズです。ぼく達は、宗像市・福津市の子たちのクイズをやった後にクイズを出したので、そうとうプレッシャーがかかりました。ぼくが言ったのは、初めのあいさつ、八番、九番、十番、十二番のクイズ、終わりのあいさつです。ぼくは、家で毎日毎日発表の練習をしました。家で工夫したことが、本番でも上手く出来たので良かったです。

二つ目に心に残ったことは、5日に見に行った善五郎の滝です。善五郎の滝に通じる道が、少しこおっていたところがあったので、ちょっとすべりそうになりました。でも、なんとか滝に到着できました。ガイドの人が、滝のことについてこんなことを言っていました。

「善五郎の滝が全面凍結するのは、年に二、三回程しかない。」と言っていました。ぼくが滝をみたら、まだ、「ゴー」という大きな音が滝から聞こえてきました。ぼくが見た時点では、まだ、とう結していませんでした。周辺の木をよく見てみると、ちょっとすごいところがあって、それは、滝の水しぶきが木にくっついたまま、こおっていたところです。

滝の周辺には、シラカバの木や、地層、二十五センチ位の長いつららもあつたりと、乗くらの自然を、とても満喫できました。

ぼくのグループの人は、みんな滝をポカーンと見つめていました。多分、こおった滝を初めて見たからだと思います。

滝から流れ出た川は、少しうすい水色に、黄緑と黄色を少し混ぜたような色でした。そこでぼくは、水が透明じゃないんだ。とちょっとびっくりしました。

夏にはぼく達が福岡に行くので、とても楽しみです。そしてまた、宗像福津の子たちと一緒にいつか夏の善五郎の滝を見に行きたいです。



私は、宗像・福津の子どもたちと2日間の中で仲よくなれました。クイズの出し合いは、沖ノ島の3人のお姫さまのことや、こふん、おうえん歌のかえ歌など、おもしろいクイズなどを出してくれて、楽しかったです。

雪山体験は、みんなと雪山登り、雪合戦、雪上つな引きなど楽しかったです。さいごには、そりリレーをしたので思い出になりました。みんなで作ったアイスクリームはおいしかったです。それに、さし入れてくれたシュークリームはすごくおいしかったです。みんなとおいしく食べられたので、うれしかったです。

他にもヒュッテほしのご飯はすごくおいしかったです。信州サーモンや、なべなど、いろいろとおいしいご飯をつくっていただいたので、すごくかんしゃしました。

1日目のヒュッテほしについたときや、夜食のときにAグループのみんながすごくやさしくしてくれたので、うれしかったです。



2日目の雪山体験のとき、池がこおっていて雪がつもったところにつれていってくれました。つもった雪をはらって、氷だけにすべって遊びました。いつもすべっている氷よりもすべる気がしました。ころびそうになるときもありました。でも雪山に行ったのは初めてだったので、楽しかったです。宗像福津の子ども雪によろこんでいたのでよかったです。

ぼくは今回の交流会で宗像市・福津市のみんなに最高のおもてなしをして喜んでもらいたいと思い参加しました。

一日目の町中見学では、みんなとても楽しそうにガイドの人の話や説明を聞いていました。そして、みんなが特に楽しそうにしていたのは松本城です。急な階段もとても楽しそうにのぼっていました。次にバスに乗って乗くらに行きましたが、途中で山道に雪があるのをみてみんなうれしそうに目を輝かせていました。ぼくは、雪がよほどめずらしく、うれしいんだなと思い、ぼくたちもがんばろうという気持ちになりました。



二日目は、ぼくが目を覚ましたらほとんどの人が起きて外の雪で遊んでいました。みんなうれしそうに楽しく遊んでいました。次に雪山の探さくをしたり、アイスクリームも作りました。探さくしている間、ずっと雪を食べていた友達もいました。アイスクリームを食べた後に、雪合戦をやったり、雪の上でつな引きをやったりしました。とても楽しかったです。

今回の交流会は福岡の人はもちろん、松本のみんなとも研修前は初めて会う人で友達ができるかとても心配でした。でも、初めて会に参加したとき、きんちょうしていたぼくに、となりの子が「君の名前は何か？」と聞いてくれて、とっても安心

できたし、うれしくて友達になることができました。そして福岡の人たちには反対にぼくから積極的に話しかけることができました。ですので、何ごとにも積極的にチャレンジするのが大切だと思いました。



松本の友達とも、宗像市・福津市の子たちとも仲よくなれてみんなよろこんでくれたので良かったです。これからも、ぼくたちの力でもっともっと良い松本にして、全国の人に松本の良さを知ってもらえるようにしたいと思います。

ぼくは、一月四日から一月五日まで、松本市・宗像市・福津市子ども交流事業に参加しました。短い時間の一泊二日でしたが、宗像市と福津市の友達と楽しく、いっぱい遊びました。

ぼくが、一番思い出に残ったのは、二日目にあった乗くら高原での雪山体験です。

雪合戦がとくに印象に残りました。ゴザを盾にして、かくれて、雪玉を相手チームに投げこんで、攻めて、旗を取ったら勝ちという本格的なものでした。九州の友達と勝つための作戦会議をしました。その結果、五回中全部勝ちました。とてもうれしかったです。スノーシュー体験も予定にありましたが、雪が少なかったので、できませんでした。本当は、一番やりたかったことなので、とても残念でした。

九州の友達と話をしたとき、九州の海のことや魚がとてもおいしいと言っていました。夏にまた会おうねとも言われました。ぼくは、宗像市と福津市には行ったことがないので、夏にみんなで行きたいです。



福津市・宗像市との交流

滝沢 夏菜

一日目

この日は、初めに、福津市・宗像市の人たちとの交流の歓迎式があった。どんな子が来るのか、ワクワクしていたし、ドキドキしていた。福津市・宗像市の人たちと仲良くなれるか不安だった。そのまま、松本城見学に行った。まずは、松本城のことを知ってもらえてよかった。その後、縄手通り周辺を見学して、普段あまり見ないところまで見られた。



時計博物館にも言った。私は行ったことがないので、行くことができて良かった。その後は、バスで乗くら高原の「ヒュッテほし」に行き、交流会をした。松本からはクイズを出した。福津市・宗像市の人々は歌を歌ったり、クイズを出してくれた。楽しい交流会になった。

一日目が終わった。

二日目

二日目は、乗くら高原で善五郎の滝などをスノーシューで見に行く…はずだった。が、雪が少なかったため、そのままで行った。少し残念だったが、初めて乗くら高原に行き、善五郎の滝も見に行けたからよかった。その後も雪遊びなどで楽しめてよかった。最後にお別れ会をした。少しさみしかったけど、この二日間で学んだこともあったし、楽しく交流できた。

また、福津市・宗像市の人たちと交流したと思った。

とても楽しい二日間だった。



二日間にわたり、宗像市・福津市みなさんと楽しく交流することができました。

一番初めに歓迎式でみなさんを拍手でむかえました。ぼくは、司会をつとめました。最初は、少しかんでしまいましたが、最後の辺りになったら、きんちょうもそんなになくなりました。歓迎式で心に残ったことは、プレゼント交換をしたことです。向こうの人たちも少しは喜んでもらえたと思ったからです。

次に、松本城周辺をC班の人とD班の人で回りました。初めに、縄手通りに行きました。歩くだけだったので、みんなでたいやきを食べたかったです。その後、時計博物館に行きました。説明を受けて自由時間になったとき、時計がいつせいに鳴ったのでびっくりしました。時計博物館は、早めに出て、松本城を、少し早歩きで回りました。一番急な階段は、ぼくたちですら、おそろおそろ昇り降りしました。D班の人が「ここ高すぎでしょ。」と言っていました。でもぼくたちにとっては、普通でした。フィールドワークは、宗像市・福津市の人を楽しんでもらえたと思います。

「ヒュッテほし」に着いて、夕食を食べました。とてもおいしかったです。お風呂の時間になって待っている間、消しバトをしていました。お風呂に行行って出てきたら、小手川君と天の川を見ました。とてもきれいに見えました。交流会で、向こうの人たちの歌やクイズに答えました。とてもむずかしかったけれど、向こうのことも、少し知ることができてよかったです。そしてすぐ寝ました。



次の日六時に起きました。朝は、雪遊びをしました。そしてごはんを食べました。とてもおいしかったです。ごはんは、コシヒカリを使用していたからだと思います。その後、アイス作りをしながら、こおった滝を見に行きました。とてもはく力があってすごかったです。お昼はカレーを食べました。とてもおいしくて一回おかわりしました。午後は、運動会をしました。ぼくのチームは、雪合戦と綱引きとそりレースがあって、雪合戦で勝ちました。ほかのゲームは、負けてしまいました。でも楽しかったのでよかったです。

向こうの人は、もう一泊するけど、ぼくたちは帰りました。ぼくも乗くらに行ったのは初めてだったけど、よい思い出になってよかったです。またみんなと遊びたいです。





一月四日の交流会の当日、私はワクワクでいっぱいでした。でも、仲良くなれるか心配でした。交流会が始まると、最初に自分のセリフがありました。とてもきんちょうしましたが、ハキハキ言うことができました。そして、福津市の子たちを見ました。すると、背筋をピンっと伸ばしている子がいました。しかも一人じゃなく、十人ほどいました。ちゃんとしてる子だな。と思いました。そうすると、また心配になったことを思い出しました。あんなにちゃんとして

る子に、嫌われずに仲良くなれるのか。それから、不安で、なかなかしゃべりかけることができませんでした。でも、やっと、乗くらへ向かうときのバスで雪松明日香さんにしゃべりかけることができました。となりの席だったからもあったけど、とてもやさしい良い人でした。それを通じて他の色々な人ともしゃべれることができました。そして、旅館に着くと、同じ部屋の人とも仲良くなりました。そして、隣の人も、隣の隣の人も、全員に話しかけられることになりました。

そして、五日の朝、スッキリ起きれました。なぜかという、みんなと仲良くなれて、安心して、ぐっすり眠れたからです。それから雪遊びに行きました。そこでは、アイスクリーム作りとこおった池、滝に行きました。池や滝に行くとき、こおった道が多くて、少しすべったりもして、おもしろかったです。そして、池ではスケートリンクを作りました。滝は、思ったよりもすごい力で、ビックリしました。アイスクリームは、牛乳の甘さがちょうどよく、固まっていておいしかったです。それからお別れ会。たくさんの方が文を読んでくれてうれしかったです。



それから、もらったおみやげを大事にしたいし、大事にしてもらいたいです。

この交流会に来て、よかったです。

フィールドワーク、交流会などで福岡の人たちと仲良くなることができたのでよかったです。

雪は少なかったけれど、乗くらの方では、しっかりと雪で遊ぶこともできました。ただ、雪遊びのとき、手ぶくろを置いてきてしまったので、そこは気を付けていきたいと思いました。

2日間はとてもみじかかったけれど、1日のようにもっとみじかく感じて、それほど楽しいことが沢山あったんだなあと思います。

夏に福岡に行けるのが、とても楽しみです。覚えていてくれたらうれしいなあ、と思いました！

